

上下水道部

組織目標



能登半島地震応急給水活動

第1回 埼玉
デザインマンホール人気投票



キャラクター部門 第1位獲得

上下水道部は、上下水道経営課・水道施設課・下水道施設課で構成し、公営企業として水道事業及び下水道事業を運営しています。

上下水道部の目標（令和6年度）	上 下 水 道 部 長
【部の基本方向】 市民生活にとって重要なライフラインである水道及び下水道を、健全で安定した事業経営と計画的な維持管理により持続可能な事業運営を実現し、将来にわたり市民の暮らしを支えていきます。	
【部の重点方針】 1 水道事業は「入間市新水道ビジョン」に基づき、水道施設の耐震化工事や改修工事を計画的に進め、安全な水道水を安定して供給いたします。 2 下水道事業は「入間市下水道中長期経営計画」に基づき、下水道管路施設の維持管理等を計画的に進め、安全で安心な下水道を持続的に提供いたします。 3 大規模な地震に備え、被害を最小限にとどめ早期に復旧できる上下水道施設の整備と、上下水道の提供を継続するための対応能力の向上に取り組みます。	
【課の目標（達成すべき目標）】 【上下水道経営課】     1 上下水道事業を安定的に運営が維持できるよう、収入確保に取り組み、経営指標等の達成状況を公表することで、透明性を確保します。 2 近年多発する地震などの自然災害の教訓から上下水道施設の応急復旧等の支援を受け入れるため「上下水道部災害時受援計画」を策定します。 【水道施設課】     3 有収率を向上させるために、漏水対策（水道）を実施します。	【目標の達成度合】 1 収入確保対策として収納対策の強化に取り組み、個別の支払計画相談や福祉部局との連携を図りました。また、経営指標等の達成状況や経営状況を市公式ホームページ、上下水道トピックス等で公表し経営の透明性を確保しました。 2 能登半島地震での応急給水活動の経験と日本水道協会が策定した「地震等緊急対応の手引き」を参考に「入間市上下水道部受援計画（上下水道編）」を策定しました。 3 漏水調査及び漏水箇所の修繕を実施しました。 令和6年度 漏水調査業務委託 ・調査地区：東金子・宮寺・二本木地区

4 「短期耐震化計画（老朽管布設替計画）」に基づき、配水管の布設替工事を実施します。 ・配水管布設替工事：約 2,200m 5 次期の耐震化計画となる「中期耐震化計画」を策定します。 【下水道施設課】  6 汚水処理区域内で下水道に接続していない未水洗世帯に対し訪問勧奨などを行い、接続世帯を増やします。 ・接続件数：50 戸 7 改築更新事業の最適化を推進するため「施設管理計画」を策定します。 8 下水道総合地震対策計画に基づく重要な幹線管路施設の耐震化工事及び老朽化した污水管渠の改築工事を実施します。 ・耐震化工事 - 管渠：123.3m - マンホール：3 箇所（補強 2・浮上 1） ・改築工事 - 管渠：1,546m（更生工事）	・透水調査件数：6,670 戸 ・漏水発見件数：50 件 令和 6 年度 漏水修理業務委託 ・修理件数：196 件 4 老朽化した配水管の耐震管への布設替工事を実施しました。 なお、一部の工事につきましては年度内の完了が見込めないため、次年度へ繰越しました。 配水管布設替工事 約 2,060m（内繰越工事約 1,330m） 5 中期耐震化計画を策定しました。この計画の中で、令和 18 年度までの水道施設の整備計画を定めています。 6 戸別訪問などを中心に普及啓発活動を実施し、72 戸（申請済み含む）の未水洗化世帯が下水道に接続しました。 7 年度内での完了が見込めず繰越し事業となりましたが、工期内の完成に向け作業を進めています。 8 耐震化工事及び改築工事について計画どおり実施し、管路施設の機能確保が図れました。 ・耐震化工事 - 管渠：122.96m - マンホール：3 箇所（補強 2・浮上 1） ・改築工事 - 管渠：1,538.52m（更生工事）
---	---